

# 松山東

## 春82年ぶり聖地へ挑戦

愛媛県屈指の進学校、松山東が秋季高校野球愛媛大会で準優勝し、63年ぶりに四国大会出場を決めた。俳人・正岡子規がルーツという野球部は県内最古の1892年創部。1950年夏には、松山高校野球大会商との統合で全国制覇を達成している。来春センバツ出場を果たせば65年ぶりの甲子園で、春に限れば実に82年ぶりの出場となる。長い長い低迷期を経て、レジェンド校が聖地を目指す。

### 63年ぶり四国大会ひと暴れだ

文武両道。高校球児の理想を實踐する松山東ナインの快進撃に、愛媛の野球ファンが沸いた。あと一歩で甲子園を逃した夏に続き、秋の県大会でも準優勝。実に63年ぶりに四国大会出場を現実化する。

「たいですね」。四国大会を前に、同校OBでもある堀内準一監督の言葉に力がこもる。同校野球部は1892年創部で、県内最古の歴史を誇る。ルーツは明治の俳人・正岡子規だ。1889年に東京からバットとボールを持って帰省した子規が、母校・松山中(松山東の前身)の後輩たちに野球を伝授。それがきっかけで野球が大流行し、3年後に球技同好会ができたといわれる。

この夏、前主将の村上貴哉(内野手3年)を中心に、真大会で決勝進出。最後は小松に敗れ、甲子園の夢は絶たれたが、エース右腕・島岡優

### 文武両道で

「昇(のぼる)」。ちなみに「野球(の)ボール」という雅号を用いるなど、野球をよく愛した。そんな子規の情熱が、同校野球部の原動力だ。松山中時代の1933年には春夏連続で甲子園出場。松山商と統合(1949~54年)していた1950年夏には全国制覇も経験して

◆松山東の甲子園成績

年	回戦	校名	スコア	相手
1933春	1回	松山中	3-0	高松(高松市立)
1933夏	1回	松山中	3-0	大津(大津市立)
1933夏	2回	松山中	3-0	大津(大津市立)
1950夏	1回	松山東	4-1	大津(大津市立)
1950夏	2回	松山東	3-0	大津(大津市立)
1950夏	3回	松山東	4-7	大津(大津市立)
1950夏	4回	松山東	0-8	大津(大津市立)



63年ぶりに四国大会に出場する松山東ナイン。伝統の掛け声「がんばっていきましょい」で気合満々だ

練習環境は決して恵まれてはいない。グラウンドはサッカー部、ラグビー部、ハンドボール部と共用。平日は内野しか使えない。しかも学校の規則で午後7時10分に下校しなければならず、他の強豪校に比べれば練習時間は格段に少ない。

31人の部員の中には、練習後、塾に通う者もいる。たとえば秋の県選考の重要な資料となる四国大会は25日に開幕する。目指すは全国制覇以来、65年ぶりの甲子園。春に限れば実に82年ぶりの聖地挑戦だ。

エース・島岡は「目の前の試合に集中して、まずは1勝」と目標を掲げる。主将の米田圭佑(捕手2年)も「どのチームも自分たちより格上。先を考えず一戦必勝で」と冷静に語った。学問と野球に打ち込む「ボール」の継承者たち。ひたむきに白球を追い、甲子園への重い扉をこじ開ける。(浜村博文)

1897年、松山中学校として創立。1949年から現校名。男女共学で全日制普通科と通信制がある。野球部は県内最古の1892年創部。甲子園出場は松山中時代の33年夏、松山商との統合で全国制覇した50年夏の計3回。主なOBに正岡子規(俳人)、大江健三郎(作家)、敷村良子(作家)、露口茂(俳優)ら。夏目漱石の小説「坊っちゃん」の舞台としても知られる。所在地は松山市持田町。

山岡山 NEWS

ポート免許教室・毎月開催中

国試受験コース・試験免除コースもあり(3日間)

免許を取得したら、レンタルポートが利用できます。

レンタル料(6時間) 3千円・5千円・1万円 各種あり(税別)

●お問い合わせは 香川マリン(株)の下記マリーナへ

屋島マリーナ 高松市庵治町 ☎087-871-2021

志度マリーナ さぬき市志度 ☎087-894-2321

# のボール魂見せる

## 正岡子規が原点